

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第163回 例会報告 (3/2)

司会者 SAA 関岡 俊二

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「国歌」「我等の生業」
ソングリーダー 菊池 敏◇お客様紹介 会長 横倉 舜三
なし

◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

1. 3月5日に開催されます地区年次大会において
当クラブがガバナー賞を受賞することになった
との通知を受けました。

2. 2月23日開催の理事会報告をいたします。

1) 松原健会員より申出があり、事業所が埼玉県
にあることから、このたび埼玉県新座ロータ
リークラブが拡大を計画し、新座こぶしロー
タリークラブを設立する運びとなったことか
ら、そちらに移りたいとの要請がありました
ので、これを了承し、当クラブの退会を承認
いたしました。退会時期は新クラブ設立に合
わせて決めたいとのことです。2) 横倉恒雄会員が病氣療養のため3月1日より
3ヵ月間の出席免除申請が出されましたので
これを承認いたしました。3) 4月6日の花見例会は会費1万円とするなど親睦
委員会の提案を了承いたしました。

◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

1) 例会臨時変更のお知らせ

東京多摩ロータリークラブ

3月8日(火) → 地区大会に振替のため休会

2) 認証状伝達式参加申込の依頼

東京国立白うめロータリークラブ

日時 平成6年4月13日(水)

場所 くにたち市民芸術小ホール

登録 14:30 ~ 16:30

登録料 12,000円(会員), 5,000円(家族)

お手数ですが出欠のご返事を3月21日までに
お願い致します。

東京お茶の水ロータリークラブ

日時 平成6年5月25日(水)

場所 帝国ホテル

登録 15:00 ~

◆ 次年度会務報告 次年度会長 宮本 誠

2月9日に行われた第一回被選クラブ協議会の討
議を受けて被選委員会組織を「クラブ奉仕」「増
強関連クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」
「国際奉仕」「青少年奉仕」の6ブロックに分
け、それぞれのブロック毎に委員会がも催され
1994~95年度の活動方針素案を作成していただき
ました。これらの素案は本日の例会後に開かれる
第4回被選理事会にて提示され、討議される運び
となっておりますので報告申し上げます。

委員会報告

◆出席委員会 委員長 遠藤 二郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本報告	52	38	0	14	73.08%
前回訂正	53	47	2	4	92.45%

今年度の出席率は、93年7月91.57%、8月93.00%、9月93.45%、10月90.86%、11月93.59%、12月92.79%、94年1月91.51%、2月90.57%と記録されており、93年7月から現在迄の平均は92.17%の高出席率となっております。又最近では無届欠席者が殆んどなくなりました。今後とも頑張ってお願ひいたします。

メイクアップ なし

欠席届出者

大松 誠二、伊神 稔、松原 健、森田 舞子、永田 健作、中山 順一郎、大熊 将夫、城倉 正博、高村 弘、高野 範城、津守 弘範、白井 博、横倉 譲

欠席者 なし

◆親睦委員会 委員長 吉尾警太郎

☆誕生日祝 菊池 敏 会員
隅 耕三 会員

★★★★★★★★★★

ニコニコBOX

委員 平野 行廣

★★★★★★★★★★

若林 滋和 先週アセアン3ヶ国をまわってきました。35℃の気温の中、エマージングな経済を駆足で見ることができました。

根本 泰守 2月25日イギリスシェフィールド大学より留学生2名 再び家庭料理に招待ロータリーの人の家は安心です信用の大きさにビックリ

中山 恒武 いよいよ3月春めいて来ましたね。

奥田 文夫 今月、多摩きものセンターと何でも屋エル、エル、サービスをオープンします。

平野 行廣 明日のゴルフ天気だといいですね。

飯島 裕美 春近し、会社の玄関先にフキノトウがいくつか目を出しました。

伊藤 英也 妻の誕生プレゼントありがとうございました。

田中 實 横倉会長事務所が明るくなってがんばれるでしょう。

奥木 博勝 妻にも誕生日があった様です。

北村 幸彦 ご多用中皆さんには御苦勞様です。4日、5日の地区大会もよろしくお願ひします。

横倉 舜三 事務所を移転しましたので

合計 23,000円

◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 赤尾 恭雄

本日のテーマは「若い人に入会の機会を与えること」「元ロータリアンを会員に選挙する」「会員資格とロータリー財団寄付」の三つです。当クラブも創立時は51.7才でしたが、年々平均年令が上がるのは必然です。今後はより若い人の入会を促進する必要があるのは当然です。

次に、別の地域のロータリアンであった方が我々の地域に移られ、現在はロータリーをお休みになっておられるような場合には、その方の当クラブへの入会を積極的にお勧めする必要があります。三つ目のテーマは「ロータリーにおける寄付行為を入会の条件にしてはならない」という事ですので留意下さい。

◆2750地区チャリティーコンサート

世界社会奉仕委員長 小坂 一郎

今年度においても世界各地で様々な災害が起っておりますが、これらの地域への援助資金を得るためのチャリティーコンサートが4月20日に開かれます。当クラブでも参加者を募り協力することに致したいと考えますので3月23日のメ切迄に多数のお申し込みをいただく様お願ひいたします。

お知らせ

★3月4日、5日の地区大会へは待ち合せて出掛けたいと思いますので詳細は遠藤会員または赤尾会員迄お問い合わせ下さい。

★ゴルフ同好会

明3月3日に行われるゴルフ会は足立潤三郎会員の「ホールインワン」を祝う会であると同時に4月18日に行われる2750地区ゴルフ大会への出場者を選抜する会でもありますので頑張っていたいだきたいと思ひます。

★ロータリー情報委員会

3月16日の例会後「ロータリーと私」というテーマでディスカッションを行いますのでよろしくお願ひいたします。

「視覚障害者とスポーツ」

清水 政直 様

私は昭和11年9月に生まれまして、戦時中国民学校と言っていましたその2年生の時に失明しました。以来一度も光を感じたことはありません。まず視覚障害者というのを理解していただくために点字のことをお話しますが、点字というのは、点によって字を構成しているんですが、これはフランスに生まれまして、もともとは軍隊から出たようです。夜でも解る字ということで、目をあけずに信号が解るように手で訓練したんでしょ。点字というのは、たった六つの点からなりたっています。基本的には経文字です。ですからこれでもって英語も日本語は勿論、他国語も全部表現されます。点字の本となりますと、例えば日本語の新約聖書は一冊ですけども点字本ですと8冊にもなります。それだけかさばるものなんです。点字の新聞には日刊新聞というのはありません。週刊の新聞が毎日新聞社から一紙出ていますが、これは点字毎日、私達は愛称で「点毎」と呼んでいますが、それだけです。別に国の助成とかはありません。さて、私達視覚障害者というのは、視覚障害で済めばいいんですが、逆に視覚障害というのをバネにする人もいます。視覚障害が二次障害、三次障害まで広がってしまうこともあるわけです。これを起こさないということにはどうすることが必要かといいますと、ここでスポーツにつながるんです。スポーツだけではないでしょうけれど、視覚障害ということで、まず光の世界が閉ざされます。そうしますとどうしても内向的



になるんです。中へ中へと縮こまって行きます。特に物心がついてからのことがそうですし、思春期になったらなおさらのことです。その時に自分を開放させていかなければいけない。その一つの手段がスポーツ、大きな手段だと思えます。目が見えないということになって落入ってしまう二次障害、まずノローゼですね。まず失明した時に、死ぬということを考えない人は一人もいません。ですから私達が慰めるとしてもやはり時の助けを借りないと、どんなに上手な慰め方をしても、その方が再生できません。だんだんにそれがスポーツ、自分がこういうことも出来るんだなということにつながることでできていったとき、その時のスポーツというものの身体障害者に与える影響力というものは大変なものだと思えます。ロータリーの有志の方が、私達のゴルフの練習をご指導いただいています。こういうことで一寸上達できれば、それは年令に関係なく自信につながります。あゝ目が見えなくても、この程度できるんだなと、本人は仲々言いませんけれど、心の中で自信につながって、見えないうっていうことを次の障害へ、精神的な障害が多いんですが、　そういうふうに悪い方向、マイナスの方向につながるのではなくて、バネにする方面へ転用できるということがあるんです。この多摩市の中でも、20年近く前でしたけれど、同年輩の方の所を訪問したことがあります。20才台で失明してからほとんど外出しないということで私が参りましたらとてもよろこんでいただきました。奥さんは、ご本人が社会復帰して社会へ出てほしいと希望しておりましたけれど、とうとう出ていただけませんでした。それはやはり行動の狭さということなんです。失明による二次障害だと思わんです。そういう点、ゴルフについても何についてもスポーツということが、外へ引き出すと、目を外に向ける、心の目を外に向けるということが、可能になってくるかと思うんです。いろいろございしますが具体的に申し

ますと、私が盲学校に入って一番楽しかったのが野球です。野球というのは、当然フライではわからない。転がさなければならない。常に動いているゲームですからボールがある程度大きくなければならない。スペースにしても普通の野球の内野が私達の野球の外野に当ります。バッテリー間が一般の半分位で、ゴロで投げます。カーブやシュートもつけられるんです。そういうことで、野球というのがとても楽しかったです。盲人野球とかかいていまして、今でも学校対抗や全国大会もあります。又、私共多摩市の視覚障害者と、府中市の視覚障害者とが、毎年交替で招きあって、これは社会福祉協議会の方も協力をいただきながら、中には民生委員の方々なども仲間に入っただき、私達のルールに従って楽しく野球をやっただいております。そのほか、盲卓球などと申します卓球とか、最近ではミニテニスやバレーボールなどが盛んになりました。ゴルフは考えようによっては面白いのではないかと思っています。というのは、野球とか卓球とか、テニスなどは、スペースにしても使う道具にしても、ルールにしても皆違うんですね。ところがゴルフはルールはそのままですし、使うクラブにしても球にしても同じです。球についていえば、ベテランというか6~7年で国際的に活躍している先輩から聞きますと、止っている球を打つんだから視覚障害者の者には割合と向いているのではないかと、と言うんですが、いざやってみるとそれがなかなか難しいんです。ただ本当にいえるのは、フォームをきちんとすれば視覚障害者には向いているのかもしれない。私が今やっていますのはマラソンなんです。今年2月の大雪の前日、建国記念の

日ですね。茨城県の勝田市公認の第42回フルマラソンがありましてそれに参加してきました。それからこの前の日曜日には有名な青梅マラソンの裏番組みたいなもので、箱根駅伝の予選が行われる所なんですけど、大井埠頭で20キロ走ってきました。20キロですと気が楽に走れるんですが、フルマラソンは今まで14回走ってきたんですね。これは私たちと、それを伴走するボランティアのランナー、これが50センチ位の輪にしたロープを握り合って走ります。これも当初なかなか走れない人も走れるようになってきます。話の初めに目が見えなくなったということで、二次、三次の障害につながるということを申しました。又、その逆もあるということを申しました。こういって走り始めたということが、いろいろな事に発展するわけですね。次は誰と走ろうと、ではどこで待っていますから逢いましょう、ということから始まっているいろいろな方とのつながりもできますし、お互いに負担にならない程度で交流がはかられます。先だつての勝田のマラソンの時も、たまたま私は或る人の代理として走ったんですが、宿も取っておいて下さったので、前の晩から牽縄者——その方は始めてでしたけれど——と起居を共にして理解を深めることができましたし、お互いに楽しめたということもあります。そんなことがありまして、単に視覚障害とスポーツということで、身体を動かす手伝いを皆様がしてくださるということにとどまらず、色々な影響を、私達の展望を開いていただけるということで、今やっただいてるゴルフ関係の協力も、これからも続けていただければ大変うれしく思います。

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合647
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30